

H. Myint: *The Economics of the Developing Countries*. Hutchinson & Co. Ltd., London, 1964. 192p.

去る5月末、ミント教授が国際シンポジウム「東南アジアにおける日本の将来」に出席するため比叻山ホテルにこられたとき持参されたのが本書である。教授はこの著書になかなかの自信があるようで、近く邦訳が出版されると楽しみに語っておられた。

このシンポジウムで教授の読まれたペーパー「アジア経済発展の2つの型——内向型と外向型——」とは、きわめて好評であった。「中央公論」昭和40年9月号に全文が翻訳されてのっている。

このペーパーが高く評価されたことは、教授の経済学理論水準の高いことと、低開発国における経験なり認識なりの深いこととによろうが、とにかく教授の学殖を裏づけるに十分であった。

戦後いち早く「厚生経済学」(Hla Myint, *Theories of Welfare Economics*, London, 1948.) をロンドンで出版した鬼才である。教授は独立後のビルマに帰国し、ラングーン大学総長となった。しかし、ビルマではいれられず、現在はオックスフォード大学の低開発国経済の Senior Lecturer である。教授は、「現在、自分は東南アジアよりも、アフリカやラテン・アメリカに興味をもっている」と私に語ったが、これは母国ビルマを中心として東南アジアの実態を熟知しているから、いまそれ以外の後進地域のデータも集めているとの意味のようであった。

こうした広いデータと、「厚生経済学」以来の教授の近代経済学的知識との集積が、本書「低開発国の経済学」であるといえよう。

本書は200ページたらずのものであるが、ここに低開発国経済学の主要問題が、きれいに論理的に組み立てられている。

教授は低開発諸国の間に、人口圧迫と経済成長度の2点において、かなりの相違があるとの事実認識から、低開発国経済論を組み立てる。この相違こそ、低開発諸国の経済を特徴づける具体的な「貧困」またその解決策を各国で異ならしめているとする。

そこで、第1部として人口圧迫のない後進国経済の問題点として、農民生産物輸出の増加と貨幣経済の成長、鉱山、プランテーションの発達と貸銀経済の成長、2元的金融制度と金融制度の従属性・独立性をと

りあげる。

第2部は、人口圧迫下の後進国経済の問題点である。そこでは、人口圧迫と総資本必要、経済発展のための基本的最低努力と均衡のとれた成長計画の規模、均衡のとれた成長の型と経済発展率、国際貿易と経済発展等の問題を分析する。

最後の章、開発政策の一般的諸問題として、開発政策のディレンマ、市場機構、教育投資、国際的援助の4項目があげられる。

ミント教授は、私には、きわめて明晰であり、かつ分析的な性格の持ち主であるように思われる。その反映として、本書は、低開発国の経済をどう開発すべきかという実際の問題よりも、低開発国経済の性質分析ともいべきアカデミックな問題に重点がおかれている。この意味での低開発国経済論としては、本書は、今日の世界的最高水準をゆくものと思われる。東南アジア諸国の経済開発を研究するためには、本書はその理論的基礎をうるために、ぜひとも一読されなければならない。(本岡 武)

Herbert Phillips: *Thai Peasant Personality*, Univ. of California Press, Berkeley & Los Angeles, 1965, xii+231p.

John E. de Young 著の *Village Life in Modern Thailand* が本書と同じ Univ. of California Press で1955年に出版されて以来、タイ国に関する人類学的地域研究の成果が何冊か出版された。1960年 Thomas M. Frazer Jr. の *Rusembilan* が出版された時にはタイ国の地域研究もこれまで進んできたかという感が深かった。ところが、最近になって本書を手にとることによって、さらに、わたくしどもはアメリカにおける行動科学と地域研究の発達に目をみはったのである。

De Young から Frazer にいたるまで出版された単行本のほとんどが、村落調査を総合的にまとめたもので、どちらかという経済、社会、宗教などを総花的にまとめたものである。もちろん、そのなかでは Frazer の *Rusembilan* がかなり理論的色彩のつよい本であるが、全体としては従来の研究傾向を踏襲している。だが、本書は村落調査でえた資料の基礎のうえに書かれたものであるけれども、主題の扱いがいままでの書籍とことなり、いちだんと精密度を増した。そ